

熊本県知事 蒲島郁夫様

2013年3月5日

日本共産党熊本県委員会

委員長

久保山啓介

国政対策委員長

山本伸裕

県議会議員

松岡徹

オスプレイの低空飛行訓練との中止を求めていただきたい

在日米軍は28日、日本政府に対し、3月6～8日に米海兵隊普天間基地（沖縄県宜野湾市）所属の垂直離着陸機MV22オスプレイ3機を岩国基地（山口県岩国市）に移し、低空飛行訓練を行うことを明らかにしました。

訓練場所は「未定」としてはいますが、岩国基地を拠点とした場合、熊本県を含む「イエロールート」での訓練が予想されます。

オスプレイは、危険な欠陥機であるうえに、その訓練は、沖縄配備後、日米合意に背き、市街地上空でなされるなど、住民の安全を無視したものでした。

低空飛行訓練だけでなく、夜間飛行訓練や兵員・物資の輸送訓練など様々な訓練が実施される可能性が指摘されています。

しかも訓練ルートは明らかにされていません。

知事に対して、以下の点を要請します。

- (1) 2重、3重に危険な、オスプレイの訓練に対して、知事として、中止を求めていただきたい。米軍、政府に要請するとともに、知事会、県内市町村に対して、連携を呼びかけていただきたい。
- (2) 不当にも、訓練が強行されたら
 - ①直ちに「抗議声明」をだし、中止を求める発信をしていただきたい。
 - ②全県的な監視体制を強化し、ルート、高度、騒音等を把握、計測し、明らかにしていただきたい。